



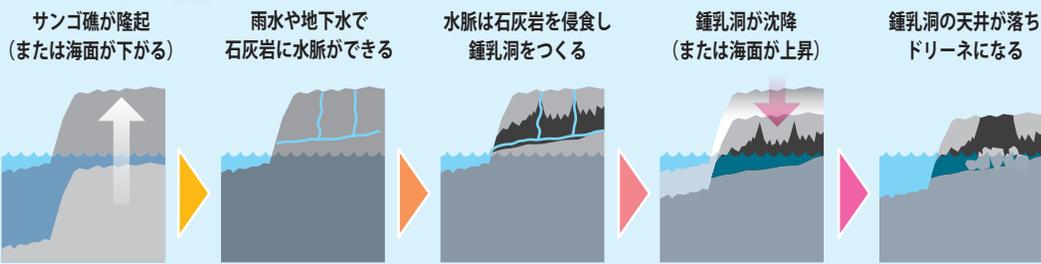
Historical / Natural heritage in Amagi town



## サンダルばきで行ける秘境 浅間湾屋洞穴「ウンブキ」

**国内初**、世界では5ヶ所目の発見となる希少な魚類、ウンブキアナゴが生息する「ウンブキ」。平成23年度、観光地として整備されました。サトウキビ畑の中にぽっかり開いたドリーネ＝鍾乳洞の天井が落ちたくぼ地で、水没している洞窟の先は、滑走路の下を通り、400メートル先の湾屋川右岸に達しています。海と同じように満ち引きがあり、海から迷い込んだ魚が見られることも。島口で「ウン」は海、「フキ」は崖もしくは水などが噴き出す所の意味。空港から700メートルほどの場所ながら、海に通じる水中洞窟、森の生物、世界的に希少な魚が見られる、本物の秘境です！

### ウンブキの成り立ち



※ウンブキの南東に口を開けている洞窟は、コーフキと呼ばれていましたが、現在はその名がほとんど知られなくなりました。

サトウキビ畑の真ん中なのに、美しい水中鍾乳洞が見られるのは圧巻。海水と地下水が混じる汽水で、時には、海から迷い込んだ、ミナミクロダイが見られます。

好奇心旺盛なアカヒゲ。国の天然記念物で、環境省の定める国内希少野生動物種。人懐こく、いつのまにか間近に近寄っていることも！

6～7月に見ごろを迎えるサクララン。名の由来は花がサクラに、葉がランに似ているからですが、どちらとも無縁の草本です。

梅雨のころには、森で繁殖するリュウキュウサンコウチョウが、子育てのため飛来することからですが、どちらも無縁の草本です。カラスを撃退するほど、気骨があります！



## ウンブキは夜も見どころ満載・・・

ウンブキアナゴは、大潮の後半から中潮になるころ、ちょうど宵に満潮を迎えるので、見ごろです。



平成26年2月、神奈川県立博物館の瀬能氏、三重大学の日比野氏、浅間在住で発見者の山田氏の共著による論文で、「ウンブキアナゴ」と命名することを発表しました。

体長10センチほどになる、リュウグウモエビの一種。研究なかばのため、和名がついていません。



全長20センチあまりになる、カワアナゴの一種。まだ、和名がついていません。



地面に穴を掘って住む、オカガニ。甲幅8センチを超え、何でも食べる雑食性。



毛玉に尾が生えたような、不思議な形で眠るアマミヒヨドリ。



もっと情報が見られる電子版はこちら



※ウンブキの水生物は捕っても、食べても違法ではありませんが・・・洞窟には餌が少ないので、とても瘦せています。

編集：天城町教育委員会 具志堅亮、山田文彦